

# まるいん通信



公益財団法人 屋久島環境文化財団 TEL 0997-42-2911 FAX 0997-49-1018

## 第5回屋久島研究講座開催のお知らせ

### 『屋久島の津波痕跡の発見』

— 屋久島を襲ったここ数百年の歴史津波 —

- ☆ 講師 中川 正二郎 (屋久島地学研究会)
- ☆ 実施日 平成30年2月28日 (水)
- ☆ 時間 19:00~20:30
- ☆ 場所 屋久島環境文化村センター (宮之浦)
- ☆ 定員 200名 受講料 無料

※一般の方の予約は必要ありません。受講証明書が必要なガイドの方のみ、前日までに文化村センターにご予約ください。(平成29年度の研究講座はこれが最後になります。)

電話 0997-42-2900

#### 第4回 『屋久島の里を知ろう』展 ~ 中間集落編 ~

- 期間: 平成30年3月1日(木) ~ 3月31日(土)
- 場所: 屋久島環境文化村センター 交流ホール (入場無料)
- 内容: 集落の文化や行事・史跡等の展示をします。



さとるくん

今回は中間集落です。  
ぜひ、お越しください。

#### 冬~春の1日型エコツアー 参加者募集 !!

「とって・見て・楽しむ、川の生き物観察会」

- 開催日時: 3月21日 (水・祝) 10:00~14:10
- 募集人数: 15名 (小学校5年生以上、中学生以下は保護者同伴)
- 内容: 川で生き物を採集、観察会
- 問い合わせ: 研修センターTel46-2900 担当: 本間



### 屋久島ファンクラブ会員募集

公益財団法人屋久島環境文化財団では、屋久島の素晴らしい自然や環境文化を未来に引き継ぐ為の様々な活動を支援していただくために「屋久島ファンクラブ」の会員を募集しています。

年会費 2,000 円。各種特典があります (以下参照)

- ・フィルムを使用したオリジナル会員証の贈呈
- ・機関紙「屋久島通信」を年3回送付
- ・文化村センター観覧料無料
- ・屋久島に関するガイドブック・グッズ等贈呈
- ・「自然・文化体験セミナー」参加料割引
- ・研修センターの受入受講料割引
- ・屋久島世界自然遺産ワオンカード贈呈

さらに更新者には ・更新者プレゼント (抽選) ・「屋久島通信」バックナンバー3部贈呈

文化村センター、研修センターで加入することが出来る他、HPにてクレジット決済も可能です。

※詳しくは、財団事務局にお問い合わせいただくか、屋久島環境文化財団HPをご覧ください。

連絡先 Tel 0997-42-2911 ホームページ <http://www.yakushima.or.jp>

## インストラクターだより

『川のカメ事情』 インストラクター 本間 詩織

屋久島のカメといえば、ウミガメを思いうかべる方が多いと思いますが、今回は海に生息しているカメではなく、川に生息しているカメのお話です。

屋久島の川にカメっているの？と疑問に思うかもしれませんが、実際、ニホンイシガメ（以下：イシガメ）が生息しています。イシガメは大人と子どもで特徴が異なります。子どもは尾が長く、全体的に黄色みが強いのが特徴です。大人は手足と腹甲（甲羅の腹側）が黒く、甲羅のお尻の部分がギザギザしているのが特徴です。

屋久島では一湊川と宮之浦川、安房川で発見されています。さらに、宮之浦の川岸や民家の庭で卵を産んでいることも確認されています。イシガメは日本の固有種で絶滅が心配されているカメですが、屋久島には元々いたわけではなく、屋久島に持ち込まれたものが住みついてしまったという可能性が指摘されています（2016, 鈴木ほか）。イシガメに限らず、人の行動ひとつで本来いるはずのない生き物が入り込み、その土地の生態系に影響を与えることも考えられます。現在イシガメが生態系にどのような影響を与えているかはわかりませんが、このような生き物をこれ以上増やさないようにしていく必要があるかもしれません。

参考文献：鈴木大・菅野一輝・岡山嵩大・田中亘・布施健吾. 2016. 屋久島におけるニホンイシガメおよびミシシippアカミミガメの分布記録. 爬虫両生類学会報



(写真 イシガメの子ども)

### 財団活動報告

#### 『冬の野鳥とエッグアート体験』



1月14日（日）、15名の参加者の方々と、冬しか見られない野鳥を観察したり卵に絵付けをして素敵な作品を作ったりしました。参加者からは「観察するだけでなく解説も聞いてよかった」「家でもエッグアートをしたい」などのご感想をいただきました。

#### 『第3回屋久島子ども森のあそび場』

「焚き火 de ほっこりごはんの会」1月20日総勢13組49名のご家族と実施しました。天気恵まれ、焚き火を囲んでパンを作る楽しい1日を過ごすことができました。

#### 『第2回屋久島環境未来ミーティング』



総勢55名の参加者の方々と屋久島の未来やくらしを考えるミーティングを実施しました。1人1人が考える場に「直接会話は大切！」「屋久島をより良くしたい」などの感想をいただき、屋久島の未来をより深く考える有意義な時間を過ごすことができました。

### ～ 屋久島を想う ～

アテンダント 小島 とみ



文化村センターのアテンダントになり1年が経ちました。世界各国から沢山の方が来館されるので屋久島の自然や文化を伝えられる様に情報収集に努めています。去年のクリスマスに1通のグリーティングカードが届きました。7月に観光に来られたお二人からで、ちょうどその時、一湊集落で浜祭りが開催されていたので、ご案内したところ、島の伝統行事に参加できたこと、島の方たちの優しさに触れ、大変喜んでいました。

” We are coming back next July”

（私たちは次の夏にまた屋久島へ戻ります）とのメッセージも書いてあり、お二人の来島を楽しみにしています。屋久島は旅行者と住んでいる方の距離が近い島。自然もちろん素晴らしいですが、住んでいる方たちとの交流もとても魅力的な島だと改めて感じました。

休館日 村センター 2/20（火）、3/20（火）

研修センター 2/19（月）、2/26（月）、3/5（月）、3/19（月）

### 村センター 平成30年4月1日からの休館日

毎週月曜日（ただし、月曜日が祝日の場合は翌日）

年末年始（12月28日～1月1日）ただし、4月29日から5月5日まで、及び7月20日から8月31日までは休まず開館。